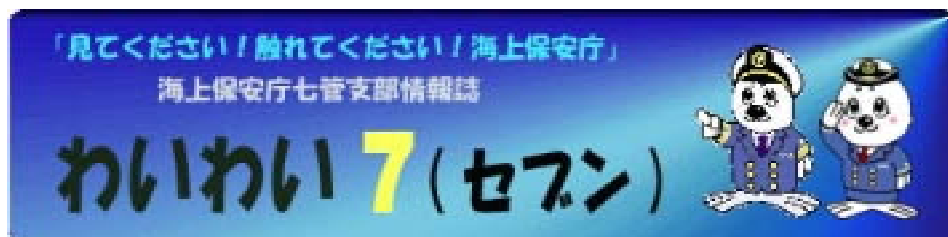


# 海の事件・事故は118番へ



平成17年 1月31日  
(第23号)  
編集 海上保安友の会  
七管支部事務局  
浦野・中村  
(編集長 山本 裕一)  
093-321-2931 内線2111

新年も早いもので1ヶ月が経過し、新しい年を迎えての最初の「わいわい7」となりました。今年も第七管区海上保安本部のホットな話題、行事等、会員の皆様にご提供する橋渡しとして、事務局一同がんばってまいりますので、昨年同様よろしくお願い申し上げます。

## 七管トピックス

### ○七管内における平成16年海難等の発生状況

～海難過去10年で最多～



平成16年の第七管区海上保安本部管内において、海難事故にあった船舶は543隻で過去10年間で最多となり、全国(2,880隻)の18.8%を占め、過去10年間では平成2年を除き、全国11区ある管区で残念ながらワーストワンが続いています。

海難船舶数は前年に比べ21隻増加、船舶の用途別では漁船208隻(前年比8隻減)で最も多く次いでプレジャーボート167隻(同20隻増)、貨物船86隻(同29隻増)、タンカー(同増減なし)、旅客船16隻(同1隻増)となっています。

一方海難事故に伴う、死亡・行方不明者は14人で、昨年は死亡に伴う大きな海難が少なく前年に比べ10人減少しました。

船舶海難が増加した原因については、昨年相次いだ台風の襲来で海が荒れたため、プレジャーボートや漁船などの小型船の転覆・浸水も多かったことが一例としてあげられます。

また、貨物船の海難の増加は、経済物流の活性化があるとも考えられており、当管区では安全運航指導等を強化することとしています。

### ○七管内における平成16年海上犯罪取締りの現況

～海上犯罪の送致状況、海上関係法令違反等の取締り状況～

平成16年の第七管区海上保安本部管内における、海上犯罪の送致件数は650件で、前年に比べて24件(約3.8%)増加しました。海事法令違反及び出入国、薬物・銃器関係法令違反の増加が顕著に認められます。

近年、当管区では、不審船・工作船対策、テロ脅威の高まりを受けた重要施設警備、密輸・密航の水際阻止対策等の「社会悪」対策を強化する一方で、海事法令違反に対しては検挙一辺倒でなく、安全指導・啓発活動にも重点を置いた犯罪対策をとってきたこともあり、送致件数は平成11年以降、一昨年まで送致件数が減少を続けていました。

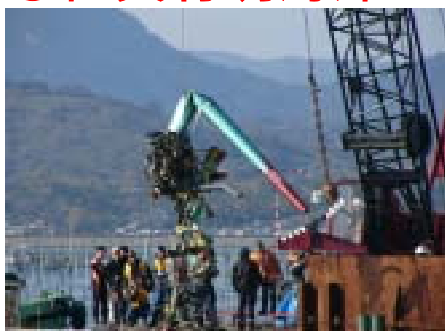
平成16年の送致件数の主な特徴としては、衝突・乗揚げ等の業務上過失往来妨害罪を主とする刑法犯は減少していますが、依然として高い水準に留まっていること、海事関係法令違反及び漁業関係法令違反は昨年に続き増加したこと、一昨年大幅に減少した出入国関係法令違反が増加したことがあげられます。



送検される密出国者

|                    |               |
|--------------------|---------------|
| ・刑法犯               | 185件(前年比26件減) |
| ・海事関係法令違反件数        | 304件(同26件増)   |
| ・漁業関係法令違反件数        | 63件(同11件増)    |
| ・海上環境法令違反件数        | 66件(同7件減)     |
| ・出入国、薬物、銃器関係法令違反件数 | 24件(同20件増)    |
| ・その他の違反件数          | 8件(同増減なし)     |

## ○佐賀有明海沖ヘリ墜落事故、現在捜査中



年の瀬も押し迫った12月24日佐賀県の民間航空会社の小型ヘリコプターが有明海に墜落し乗っていた同社の社員3名が死亡するという痛ましい事故から一ヶ月が経過しましたが、七管区及び三池海上保安部などの有明海ヘリコプター墜落事故対策本部は現在事案の全容を解明すべく捜査をすすめています。

事件を振り返ってみますと、12月24日午後10時頃、佐賀空港事務所員から三池海上保安部へ次のような通報が始まりました。「佐賀県在住会社所属ヘリコプター(3名乗組)が、佐賀空港向け長崎ベイサイド場外離発着場を出発しましたが、12月24日午後9時10分の佐賀県藤津郡太良町上空付近での無線連絡を最後に行方不明です。」

当該機が有明海へ不時着した可能性もあることから、三池海上保安部から巡視艇「いけかせ」「すいれん」、福岡航空基地からヘリコプター、隣接の管区から巡視艇1隻、ビーチクラフト・ヘリコプター各1機が出動しました。その後、三池海上保安部灯台見回り船「みょうこう」、長崎海上保安部から巡視船「いなさ」を増強し捜索を開始しました。

25日午前10時30分頃、漁船が有明海にて機体の一部を発見したことから、捜索・捜査等のため第七管区海上保安本部管内から陸行にて20名、門司海上保安部から巡視船「きくち」、福岡海上保安部から巡視船「はかた」潜水士7名、佐世保海上保安部から巡視艇「あいかせ」、大分海上保安部から巡視船「やまくに」(潜水士5名乗組)(27日から)が出動しました。

同日午後12時30分頃、福岡航空基地ヘリコプターが当該機のブレードと浮流油を発見。同日午後6時、第七管区海上保安本部警備救難部に「有明海ヘリコプター墜落事故対策室」、三池海上保安部に「有明海ヘリコプター墜落事故対策本部」を設置しました。

26日午前11時30分頃、佐賀県漁業取締船が女性遺体1体、同日午後3時頃、巡視船「はかた」潜水士が男性遺体1体、27日午後4時頃、佐賀県(消防機関)の潜水士が女性遺体1体を発見。収容した3遺体はいずれも当該機乗組員と確認しました。当該機的主要部は、所有者手配によるクレーン台船により、27日午前10時頃引き揚げられました。なお、25日から「航空の危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律」違反等被疑事件として捜査に着手、事案の全容を解明すべく現在捜査を継続中です。

## ○海の緊急通報「118番」周知活動

～ミスポート門司ら街頭活動 リーフレット配り協力呼びかけ～

(118番リーフレットの配布)



海上保安庁の緊急通報「118」番は平成12年5月1日の運用開始から約5年が経過し、地域の皆さんからの通報手段として利用され成果を収めているところですが、その周知はまだ十分とはいえません。第七管区海上保安本部は1月18日の日付にちなみ1月18日(火)から同24日(月)までの1週間を海の緊急通報「118」周知週間として、PR活動を展開しました。

118番通報システムは、一般加入電話や携帯電話からは発信エリアを管轄する各海上保安本部へ、船舶電話からは海上保安庁へつながる仕組みとなっており、運用開始から現在まで、七管管内では118番通報により377隻、760人が救助されています。

通報は七管管内の累計でも31万2755件のうち30万7142件(99.0%)が間違いやいたずら電話であることから、本週間においても「いたずら等は緊急時の妨げになるので、正しい通報」を強く呼びかけました。

初日の1月18日は、管内の門司・若松海上保安部が、門司レトロ地区やJR戸畑駅前などにおいて街頭キャンペーンを行い、118番のリーフレットの配布などを行いました。門司区港町の「門司港レトロ地区」に於いては海上保安官の制服を着た「ミスポート門司」の北川深雪さんと藤井治美さん、それに「うみまる」が道行く人にリーフレットを配布し118番通報の重要性をPRしました。

また、門司海上保安部の職員が「通行人が船たまりから海に転落し、発見者が通報する」との設定で観光客らや報道陣を前に、通行人に扮した潜水士がレトロの船溜まりの海に落ち、発見者役の「ミスポート門司」が携帯電話を使って118番通報、巡視艇が救助に駆けつけ、転落者を引き上げる場面が実演披露されました。



(ミスポート門司による通報の実演)

## ○七管内巡視船艇の配属替え等



(巡視船「でじま」)

- (1) 長崎海上保安部所属巡視船「でじま」は、平成17年1月4日付けで第二管区海上保安本部塩釜海上保安部に配属替えとなりました。

### 主要目

船 型 1,000トン型巡視船(ヘリコプター甲板付)  
 総トン数 1,365トン  
 主要寸法 長さ93.4×幅11.5×深さ5.0(メートル)  
 主な略歴

平成11年10月29日就役 長崎海上保安部に配属  
 平成15年2月20日 長崎県福江島沖にて発生した、ベリーズ船籍漁船SOLFRESH(ソルフレッシュ)606号(73トン、乗組員28名)転覆・沈没海難において、他の巡視船艇や航空機との連携により、乗組員23名を救助するなど、九州西方海域における警備救難業務に活躍しました。

- (2) 巡視船(高速特殊警備船)「ほうおう」が平成17年1月27日、長崎海上保安部に就役し、乗組員の慣熟訓練等を実施後、2月中旬に長崎港に入港します。

巡視船「ほうおう」は、主に東シナ海周辺海域において警備救難業務に従事することとなります。

要目等は、総トン数 約220トン、  
 長さ 約50.0×幅 約8.0×深さ約4.0メートル  
 ウォータージェット推進式で、目標追尾型遠隔操縦機能付20ミリ機関砲、赤外線搜索監視装置などが装備されています。

この高速特殊警備船タイプは、不審船事案に適切に対処するため、平成16年度末までに5隻が就役しており、「ほうおう」が6番船となり、「ほうおう」の就役で高速特殊警備船の整備は終了しました。

(巡視船「ほうおう」)



巡視船「げんかい」

- (3) 巡視船「げんかい」は、平成17年2月12日付けをもって福岡海上保安部から横浜海上保安部に配属替えとなります。博多港出港日時は、2月7日午前9時の予定です。

### 参考事項

#### 主要目

船 型 1,000トン型巡視船  
 総トン数 961トン  
 主要寸法 長さ77.8×幅9.6×深さ5.3メートル  
 主な略歴

昭和55年1月31日就役 福岡海上保安部に配属  
 昭和59年5月15日から平成10年11月26日までの間、「救難強化巡視船」として平成元年の「キャサリンローズ号衝突沈没海難」、平成5年の「第7姪子丸」等幾多の海難現場において潜水救助業務等の特殊な救助活動に従事しました。

- (4) 対馬海上保安部所属巡視艇「あさぐも」は、平成17年2月12日をもって解役となります。

巡視艇「あさぐも」は、昭和53年9月に、厳原海上保安部(現:対馬海上保安部)に配属されて以来27年間、対馬周辺海域における国境警備を主たる任務として、領海内における外国漁船の不法操業監視取締り、海上交通の安全確保、海難救助、海上防災・海洋環境の保全等に活躍してきました。

一昨年11月洋上に巻きあがる竜巻を「あさぐも」がVTRに収録し、報道機関に提供し、全世界にその映像が配信され、「あさぐも」の名前が世界に紹介されたこともありました。



巡視艇「あさぐも」

### 参考事項

#### 主要目

船 型 30メートル型巡視艇  
 総トン数 149トン  
 主要寸法 長さ30.5×幅6.3×深さ3.36(メートル)



次号は2月下旬を予定しています。

<編集後記>

「わいわい7」の編集にあたり、会員皆様のご意見やほのぼのとした写真、みんなが楽しんでいるような写真、俳句、絵、まんが、感想等々がありましたら、下記宛投稿お願いします。皆様の投稿をお待ちしています。  
(投稿していただいた方には粗品を贈呈いたします。)

皆様方のお近くに、海上保安友の会に興味を持たれている方、また、新規に友の会に加入したい方がおられましたら、是非、事務局までご一報下さい。

別途「案内書」を送付いたします。

会員の皆様でメールアドレスをお持ちの方は、アドレス登録をお願いいたします。

登録の際は「友の会メール登録希望」とし[会員番号][お名前][お電話番号]を必ず記載願います。

友の会受付アドレス [soumu-7@kaiho.mlit.go.jp](mailto:soumu-7@kaiho.mlit.go.jp)

(各種イベントにお越しの際は、会員証を持参してください。)



海の事件・事故は**118**番へ